

年度 2008 学期 前	曜日・校時 (火)1、2 (水)1、2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語 I (Chinese I)		
対象年次 一年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 火1;La・b、火2:E6、水1:M11・12、水2:P18・19+F 二	科目分類 外国語科目(中国語)		
担当教員: 劉 愛莉 /研究室: 非常勤講師控室 /TEL:095-887-3467 /オフィスアワー: 火曜日、水曜日 12:00~13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業 のねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。</p> <p>授 業 方 法: 発音練習を重点に、また本文、文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。</p> <p>授業到達目標: 中国語の正しい発音を身に付けし、漢字の書き方に慣れると同時に単語をしっかりと覚え、初歩的な中国語文法を習得する。</p>			
<p>授業内容(概要)</p> <p>内容:最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、簡単な挨拶を習得し、第6回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。</p> <p>第1回 中国語について 単母音と声調 第2回 母音(二重母音、三重母音) 第3回 子音 第4回 n ngをもつ母音 音節とその読み方 第5回 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第6回 第1課「自己紹介」 第7回 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第8回 第2課「私は大学生です」 第9回 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 第10回 第3課「私たちの学校」 第11回 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第12回 第4課「私の家族」 第13回 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第14回 総合復習(第1課~第4課 存現文) 第15回 まとめ(試験を含む)</p>			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト:『実用中国語10課』 (白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。習った単語を覚え、宿題を完成すること。 教科書、筆記用具、辞書必携。		